

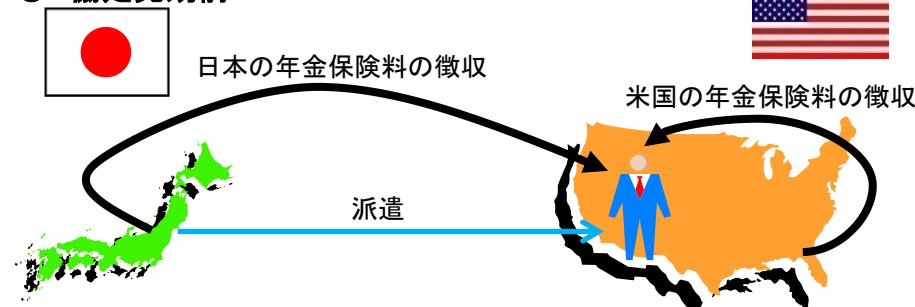
# 社会保障協定について

○ 社会保障協定の目的 … 国際間の人的移動の活発化に伴う年金等に係る課題の解決

⇒ 年金については、年金保険料の二重負担、年金受給資格の確保が課題となっている。

## 年金保険料の二重負担の課題

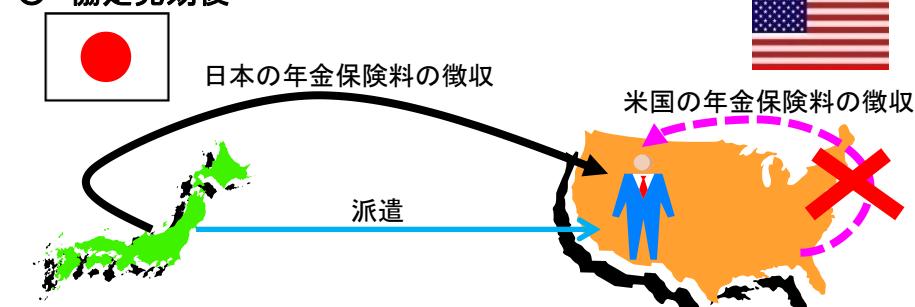
### ○ 協定発効前



⇒ 日本の年金保険料と米国の年金保険料の両方を払うことが必要。

### 適用法令の調整

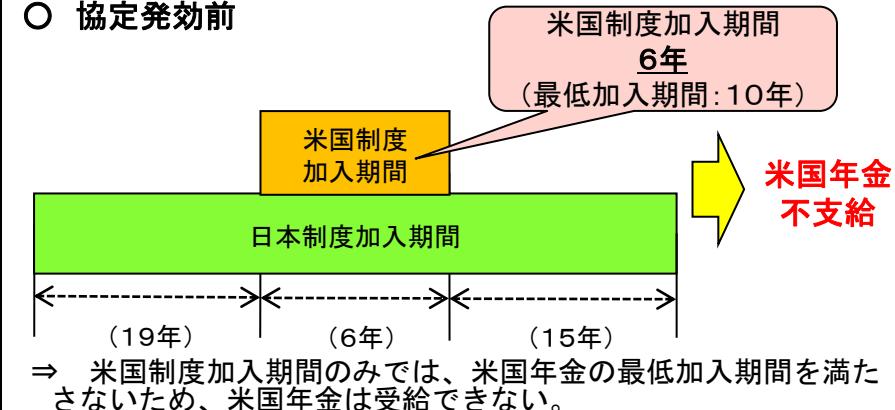
### ○ 協定発効後



⇒ 短期の派遣（5年以内）の場合は、日本の制度にのみ加入し、米国制度への加入義務免除（原則は就労国でのみ加入）。

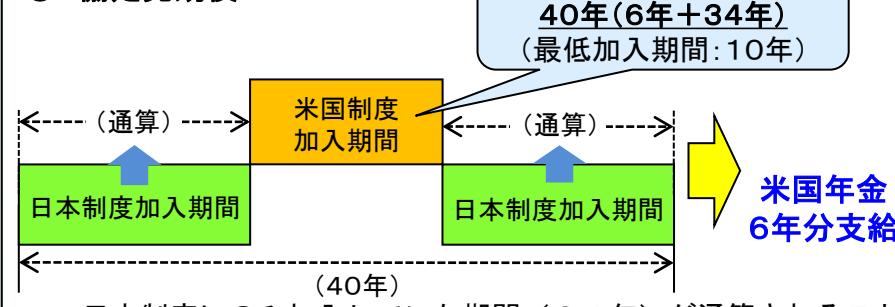
## 年金受給資格の確保の課題

### ○ 協定発効前



### 加入期間の通算

### ○ 協定発効後



○ 日本が社会保障協定を締結（発効済）している国（24カ国）（2025年12月1日現在）：ドイツ、英国、韓国、アメリカ、ベルギー、フランス、カナダ、オーストラリア、オランダ、チェコ、スペイン、アイルランド、ブラジル、イスラエル、ハンガリー、インド、ルクセンブルク、フィリピン、スロバキア、中国、フィンランド、スウェーデン、イタリア、オーストリア（英國、韓國、中國及びイタリアについては通算規定を含まない。）